

# 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成19年9月28日公表

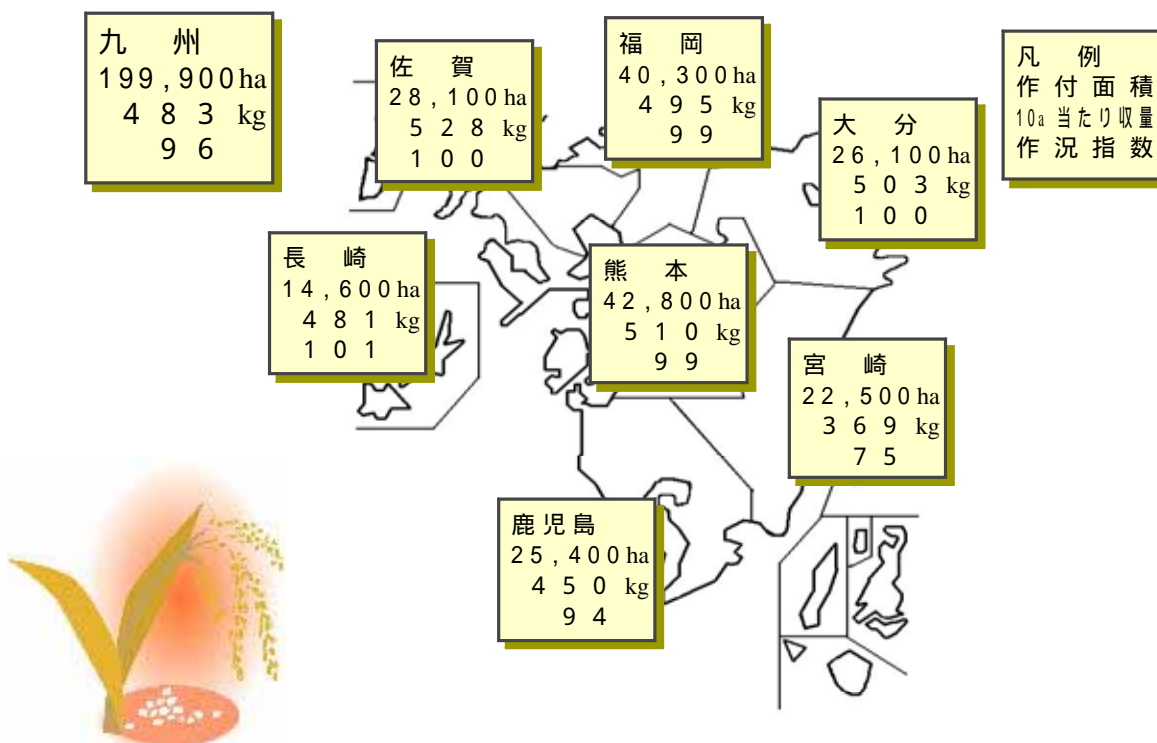
## 平成19年産水稻の作付面積及び9月15日現在 における作柄概況（九州）

- 水稻の作付面積は2%減少、作況指数は9.6の見込み -

### 【調査結果の概要】

- 九州における平成19年産水稻の作付面積（青刈り面積含む）は19万9,900haで、前年産に比べ3,700ha（2%）減少しました。
- 水稻の作柄は、梅雨明け以降高温多照に恵まれたものの、6月下旬から7月中旬の日照不足や台風第4号の影響により早期栽培水稻の登熟が抑制されたことから、10a当たり収量は483kgの作況指数9.6が見込まれます。

図 平成19年産水稻作付面積及び作柄の状況（各県）



注1： 作付面積は、青刈り面積を含んだ面積です。（以下の図表において同じです。）

注2： 宮崎・鹿児島は、早期・普通栽培の合計です。

調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

【解説】

1 作付面積

水稻作付面積（青刈り面積含む）は19万9,900haで、前年産に比べ3,700ha（2%）減少しました。これは、不作付地の増加及び飼料作物等への転換によるものです。

表1 平成19年産水稻作付面積（九州）

区 分	作 付 面 積 (青刈り面積含む) ha	前 年 比 較	
		対 差 ha	対 比 %
九 州 計	199 900	3 700	98
福 岡	40 300	1 100	97
佐 賀	28 100	900	97
長 崎	14 600	100	99
熊 本	42 800	800	98
大 分	26 100	300	99
宮 崎	22 500	200	99
うち早期栽培	9 770	120	99
鹿 児 島	25 400	300	99
うち早期栽培	6 370	40	99

注：「」印は減少を示します。

2 作柄概況

(1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

作柄は、宮崎が作況指数43、鹿児島が同68となりました。  
これは、全もみ数が平年並みとなったものの、出穂期以降の日照不足と台風第4号の影響により登熟が不良となったためです。

(2) 普通栽培水稻

出穂期は、田植期の遅れや7月上旬からの日照不足の影響があったものの、梅雨明け以降おおむね天候に恵まれたことから、平年並みないし2日程度早くなりました。  
全もみ数は、日照不足の影響により全般的に平年並みないしやや少なくなりました。  
登熟は、出穂期以降おおむね天候に恵まれたことから平年並みないしやや良で推移しています。

3 被害

早期栽培では、気象被害について、6月下旬から7月中旬の日照不足及び台風第4号の乾燥風の影響で登熟障害が発生しました。  
また、病虫害の発生は見られたものの、被害程度は軽微でした。  
普通栽培では、気象被害について、7月上旬から中旬の日照不足、台風第4号及び第5号の影響によるもみずれや葉先の裂傷等の被害が発生しました。  
また、病虫害では紋枯病やコブノメイガ等の発生が多くなっています。

表2 平成19年産水稻9月15日現在の作柄概況（九州）

区 分	10a 当たり	作 況 指 数	平 年 収 量
	収 量 kg		
九 州 計	483	96	502
福 岡	495	99	501
佐 賀	528	100	530
長 崎	481	101	474
熊 本	510	99	515
大 分	503	100	503
宮 崎	369	75	492
うち早期栽培	205	43	473
鹿 児 島	450	94	479
うち早期栽培	298	68	439

表3 平成19年産普通栽培水稻の県別作柄概況（9月15日現在）

区 分	出 穂 期					穂 数 の 多 少	一 穂 も 当 み た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否	刈 取 済 面 積 割 合	1 0 平 年 当 た り 量
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較							
				平 年 比 較	前 年 比 較						
	月 日	月 日	月 日	並み	1日早	( 平 年 比 較 )					
<b>福 岡</b>	8. 1	8. 23	9. 4	並み	1日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	18	kg
福 岡	7. 17	8. 26	9. 1	2日早	2日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	22	482
北九州・豊前	7. 30	8. 13	8. 31	2日遅	並み	少ない	やや多い	少ない	やや良	47	482
筑 豊	7. 12	8. 11	8. 31	1日早	3日早	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良	29	486
北筑後	8. 11	8. 27	9. 6	1日早	2日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	2	521
南筑後	8. 17	8. 28	9. 8	並み	並み	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	0	521
<b>佐 賀</b>	7. 18	8. 24	9. 9	2日早	3日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	10	530
佐 賀	8. 10	8. 24	9. 10	3日早	4日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	4	539
松 浦	7. 12	8. 15	9. 2	1日早	3日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	平年並み	35	493
<b>長 崎</b>	7. 15	8. 23	9. 3	2日早	2日早	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	16	474
西 彼	8. 12	8. 19	8. 24	1日早	1日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	平年並み	1	476
東南部	8. 18	8. 26	9. 3	2日早	並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	1	509
県 北	7. 17	8. 23	9. 4	1日早	2日早	やや多い	やや多い	多い	やや不良	22	457
五 島	7. 8	8. 17	8. 26	2日早	3日早	少ない	やや多い	少ない	やや良	46	407
壱岐・対馬	7. 13	8. 17	8. 26	1日早	3日早	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	41	442
<b>熊 本</b>	7. 10	8. 21	9. 4	並み	2日早	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	8	515
県 北	8. 18	8. 26	9. 5	並み	3日早	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	0	528
阿 蘇	7. 30	8. 8	8. 21	5日遅	3日遅	少ない	やや多い	少ない	やや良	12	510
県 南	7. 31	8. 28	9. 10	1日遅	1日早	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	7	510
天 草	6. 27	7. 7	8. 25	1日早	2日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	不良	80	437
<b>大 分</b>	7. 30	8. 22	8. 30	2日早	2日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	5	503
北 部	7. 25	8. 24	8. 28	2日早	2日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	6	517
湾 岸	7. 30	8. 24	8. 31	3日早	3日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	5	500
南 部	8. 2	8. 19	8. 31	2日早	1日早	やや少ない	多い	やや多い	平年並み	5	498
日 田	8. 3	8. 17	8. 23	2日遅	2日遅	少ない	多い	少ない	良	6	490
<b>宮 崎</b>	8. 18	8. 24	9. 2	並み	1日早	少ない	平年並み	少ない	やや良	0	507
広域沿海	8. 16	8. 22	8. 30	並み	1日早	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み	0	469
広域霧島	8. 19	8. 24	9. 4	1日早	1日早	少ない	平年並み	少ない	やや良	0	527
西北山間	8. 16	8. 22	8. 29	並み	1日早	やや少ない	平年並み	少ない	良	0	486
<b>鹿 児 島</b>	8. 21	8. 26	9. 5	並み	2日早	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	0	492
薩摩半島	8. 22	8. 26	8. 31	1日遅	並み	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	...	473
出水薩摩	8. 20	8. 25	9. 5	1日早	2日早	やや少ない	多い	やや多い	平年並み	0	491
伊佐始良	8. 20	8. 26	9. 6	2日早	3日早	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	...	512
大隅半島	8. 21	8. 25	9. 3	1日遅	2日早	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良	...	471

注：刈取済面積割合の欄の「...」は9月15日現在で刈取されていないためです。

表4 平成19年産水稻（早期・普通）の県別作柄概況（9月15日現在）

区 分	作 況 指 数
<b>福 岡</b>	<b>99</b>
福 岡	100
北九州・豊前	99
筑 豊	99
北筑後	98
南筑後	100
<b>佐 賀</b>	<b>100</b>
佐 賀	100
松 浦	100
<b>長 崎</b>	<b>101</b>
西 彼	101
東 南 部	102
県 北	102
五 島	99
壱岐・対馬	100
<b>熊 本</b>	<b>99</b>
県 北	100
阿 蘇	94
県 南	100
天 草	89
<b>大 分</b>	<b>100</b>
北 部	99
湾 岸	102
南 部	102
日 田	93
<b>宮 崎</b>	<b>75</b>
広域沿海	57
計 広域霧島	98
西北山間	99
早期 計	<b>43</b>
栽培 広域沿海	43
普通 計	<b>98</b>
栽培 広域沿海	98
普通 広域霧島	98
栽培 西北山間	99

区 分	作 況 指 数
<b>鹿 児 島</b>	<b>94</b>
薩摩半島	90
出水薩摩	102
計 伊佐始良	102
大隅半島	79
熊毛・大島	96
早期 計	<b>68</b>
栽培 薩摩半島	73
普通 大隅半島	54
栽培 熊毛・大島	96
計	<b>102</b>
普通 薩摩半島	101
栽培 出水薩摩	102
普通 伊佐始良	102
栽培 大隅半島	100

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し水稲の作付面積、生育・作柄概況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としています。

### 2 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：9月15日現在

### 3 調査方法

- (1) 作付面積調査  
調査は、標本単位区に対する九州農政局統計・情報センター職員及び統計調査員による実測調査並びに同センター職員による巡回・見積もりにより取りまとめました。
- (2) 作柄概況調査  
調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する九州農政局統計・情報センター職員による実測調査及び巡回・見積もりにより取りまとめました。

### 4 調査客体数

- (1) 作付面積調査  
標本単位区：5,790単位区      巡回・見積り：257市町村
- (2) 作柄概況調査  
作況標本筆：1,495筆      作況基準筆：151筆      巡回・見積り：257市町村

### 5 用語の解説

青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料などとして用いられるものです。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含みます。

「穂数の多少」は、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

作柄概況で用いた表示区分は次のとおりです。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

### 6 利用上の注意

9月15日現在における水稲の作柄概況は、各地域の水稲の生育段階に応じて、計測可能な穂数やもみ数等の収量構成要素の実測値を基に作柄予測を行ったもので、その後の気象が平年並みに推移するものと仮定しています。したがって、今後の気象条件により変動することがあります。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ > 統計 > 公表一覧

[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.html](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html)

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4753・4754

直通電話： 096 - 353 - 7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画統計課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4723

直通電話： 096 - 353 - 7556

10月18日は統計の日 「統計で わかるわが町 わが社会」